

「祝辞」

公益社団法人日本理学療法士協会 会長
斉藤秀之



公益社団法人日本介護福祉士会が創立 30 周年を迎えられましたこと、公益社団法人日本理学療法士協会を代表して心よりお祝い申し上げます。

はじめに貴会は、平成 6 年に創立され、平成 12 年に「社団法人」の認可を受け、平成 25 年に「公益社団法人」に移行されました。発足以来、貴会は、日本各地域における介護を通じ、国民の社会福祉の増進のためにご尽力されてこられました。この長年にわたる、歴代会長、役員、会員、関係者の皆様の並々ならぬご努力に深く敬意を表する次第です。

さて、地域包括ケアシステムあるいは地域共生社会において、介護福祉と理学療法士等のリハビリテーション専門職の活動・態勢づくりこそが、国民の安全網であると思っております。そうした中、貴会は「ニーズやサービスが多様化していくなかで、介護福祉の専門職として、人と地域そして世界へ橋を架け、誰もが安心して暮らしていける未来を目指します。」とホームページで宣言されています。感銘を受けると共に、介護福祉を理学療法と置換すれば、同じ哲学として相通じるものと思いました。

30 年にわたり確実にその実績を築かれてこられた日本介護福祉士会の皆様には、今後も本会へのご指導を賜りたいと思っております。

最後になりますが、30 周年を機に、貴会が及川ゆりこ会長の強力なリーダーシップのもと、更にご発展されること、ならびに会員の皆様の一層のご活躍とご健康を心より祈念いたします。